

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行  
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

# HSK

# 遊ぼうよ

# No. 81



生きる場センターの花見



桜の木の下でおにぎりを食べました



PM

DPI



1

AM

602 603 604

...

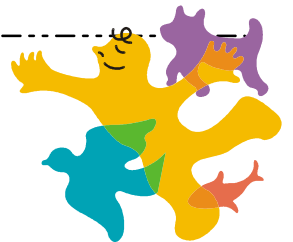
AM

2

A

...

20



3

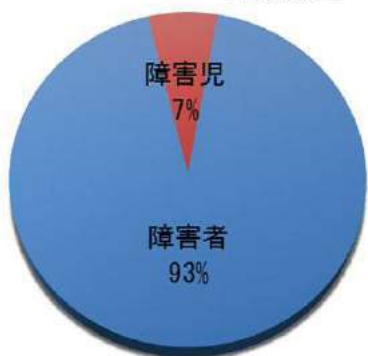
B

...

20

## 平成 27 年度相談実績

相談述べ件数



相談延べ件数は、平成 26 年度と比較して障害者は 4371 件 (99%) から 3942 件 (93%) に減少、障害児は 56 件 (1%) から 75 件 (7%) に増加しました。

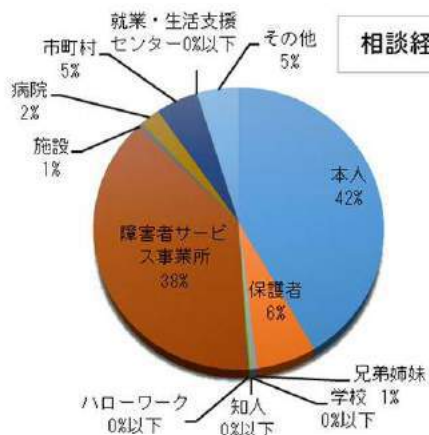
障害者は相談述べ件数は減少していますが相談者は H27 年度より 41 名増加しています。減少の要因としては相談述べ件数の計上の仕方の見直しによって軽微な相談は取り上げないことになったためと考えられます。障害児は、H27 年から計画相談の対象に加えられて関わるようになり相談人数も 7 名 (10 歳未満 4 名、10 代 3 名) 増加しました。

障害別

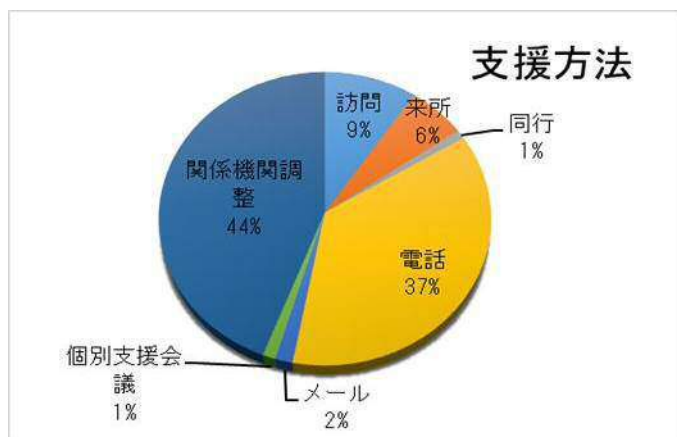


身体障害の方を対象とした相談は 39% です。H26 年度は全体の 48% でしたが、H27 年はさらに減少しました。けれども相談者は 26 名増加し視覚障害・聴覚障害・難病、中途障害の依頼が増えてきました。また、知的障害や発達の方を対象とした相談は障害児の相談が増えたため、知的は 4% 発達は 2% 増加しています。精神障害の方を対象とした相談は 31% です。H26 年は 18% だったため大幅に増加。特定の相談者による電話対応が多いためと考えられます。少ないですが重度心身障害者・児の相談も H27 年に 3 名ありました。

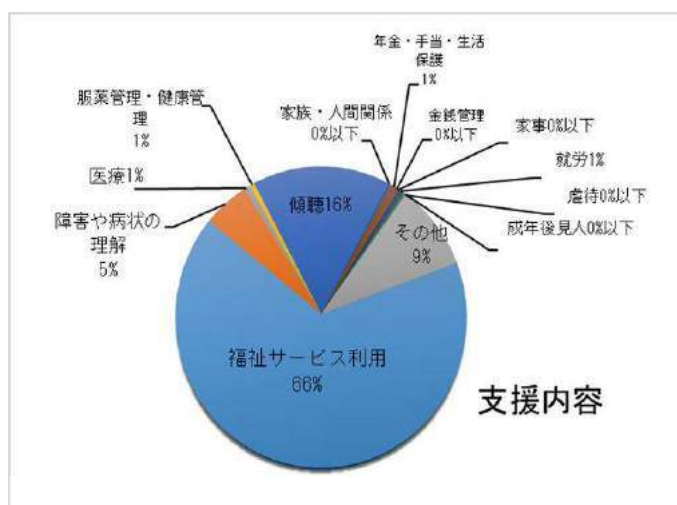
相談経路



事業所及び本人で 8 割を占めています。H26 年と比較すると本人からの相談は 14% 増加しましたが、事業所が 9% 減少しました。児童の相談や知的障害者の年金相談の関係で特別支援学校とのやり取りが増加、スクールソーシャルワーカーからの相談もありました。0% 以下の相談経路はいくつかありますがいろいろな関係機関等から相談が増えています。その他は主に成年後見人、ケアマネージャー、訪問看護からでした。



H26 年までは電話相談が概ねを占めていましたが、H27 年から集計の仕方を見直し『電話』は本人・保護者や家族等とのやり取りと FAX、『関係機関調整』で会議以外も含めた関係機関との電話のやり取りも計上したため『関係機関調整』が増加しました。



H26 年と H27 年も福祉サービス利用に関する相談が 6 割強を占めております。

その他の支援内容は、他の障害者団体に対して企画講演に関する情報・ノウハウの提供や県内の中途障害者の退院支援で自立生活体験室の利用、県外の重度心身障害の入院患者の地域移行の相談、介護保険に関する相談などがありました。

### 【H27 年度を振り返って】

計画相談が始まって 3 年が経ち 4 年目に入り、最初の方でも触れましたが障害児の相談が増え年齢層が 10 歳未満から 70 代まで幅広く様々な出会いが増えている今日この頃です。相談者は今で 150 名ほどになりました。障害者の方の相談では H27 年も中途障害の方や視覚障害の方、難病の方からや他にも聴覚障害者・児、県内・外の重度心身障害者・児、精神障害の方、身体障害だけでなく知的障害と精神障害と重複した障害の方の相談が増えたと思います。また高齢化の親と障害者の本人さんを含めた家族支援で介護保険の分野にも関わるケースが年々増加してきました。相談者だけでなくヘルパーなどの介護者も高齢化していてこれからの介護者の確保は大きな課題になってくるのではと感じています。

それから 1 名中途障害の方で入院中に自立生活体験室を利用し、買い物や調理を体験されました。そしてその体験をもとにヘルパーやデイサービスを利用しながら 1 人暮らしをされています。毎年相談者が増えていき、どうしても計画相談の書類作成にただただ追われて相談者とは希薄な関係になりがちな部分がありますが、H27 年の入院中から関わらせて頂いた方の支援では自立生活体験室の利用やりハビリの様子を視察したりなど本人さんと密に接する機会ができて毎度こうやって 1 人ひとりと深く関わっていく支援ができればと改めて思いました。(文責 八島)

# 会費納入のお願い

NPO

16



## 総会のご報告





# ANIMAL ART

## 作者紹介

福村宣博

たんせい  
丹言成込のて  
中蓄いた糸年  
見てきたしね!



## 商品紹介

- クリアファイル (A4サイズ)  
 (「どうぶつえんのにんきもの」シリーズ)  
 4種類 各 110円 (税込)



【プロフィール】 みるくおらよしひろ  
 1990年生まれ。高山市在住。内部障害を抱え県立  
 富山総合支援学校を卒業。小さい頃から絵を描くこ  
 とが得意だったことからグラフィックアートを始め  
 る。モデルは大好きな動物たち。動物図鑑をそばに  
 置き、あつという間に独創的なアニマルアートを描  
 く。ライチョウの絵が「障害者週間」高山県ポスター  
 のデザインに採用された。

- ボールペン (「ころころパンダ」)  
 1本 150円 (税込)



心身に障害のある人たちが印刷作業や創作活動を行っています。  
 作品はこのような商品化して販売しています。経費を引いた残りは  
 は利用者へ還元されます。

制作・連絡先  
 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県  
 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県 富山県  
**富山生きる場センター**  
 〒939-8075 富山県富山市長泉3-1-2 福地  
 TEL:076-491-3385 FAX:076-482-2201  
 EX-M x4124358@tym.flitweb.or.jp  
 URL http://www.flitweb.or.jp/volunteer/hsk/

※上記の商品は、「読売光と愛の事業団」様から助成金を受けて商品開発しました。

# クリアファイル&ボールペン 販売のお知らせ

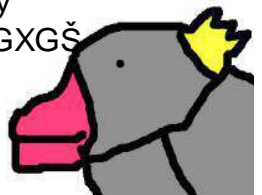
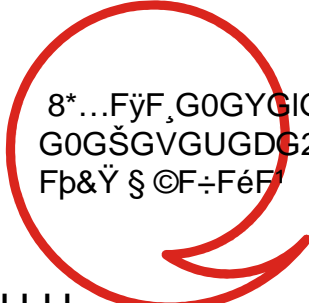


昨年度「読売光と愛の事業団」様より助成金をいただき、4種類のクリアファイルとパンダがころころ転がっていくイメージのボールペンを作製しました。広く皆様にご存知いただくため、生きる場センターではアースディとやま等のイベント会場での告知・販売をはじめとして、インターネット上では手作り品を販売する「東急ハンズギャラリーマーケット」にも出展させていただいております。

現在、富山大学生協購買部様や文具の瀬戸大泉店様で取り扱っていただいております。また富山県生協・富山センター様（富山市金屋55）で7月2日に開催されるフレッティ祭りの会場でも販売していただくこととなりました。ぼちぼちとはありますが、今までとは異なる販売経路を開拓し、新たな関係作りが出来たらと思っています。売上だけが目的ではなく、商品を通じて社会とのつながりを深める目的もあります。

生きる場センターには、絵が得意な利用者がたくさんいるのですが、商品化するノウハウが不足しているため苦勞します。

どんな商品にしたら良いのか。プロのデザイナーや商品開発担当者がいない分、みんなでワイワイ言いながら試行錯誤の日々です。



HHH



# アースディとやま2016に参加しました!



5月15日に富山県庁前公園で開催された「アースディとやま2016」に参加。G7環境大臣会合に合わせて、自然環境をテーマに花や動物を書いた絵はがき等を並べました。  
毎年のことながら、お客さんとの丁々発止の会話が楽しみです。写真は計算機を使っておつりを計算しているところです。(富山生きる場センター)

## \*公園で花見をしました\*

4月15日に花見に行きました。富山市中心部のソメイヨシノは散ってしまいましたが、生きる場センター近くの公園は八重桜が見頃。  
他に誰もいない公園は独占状態です。持参したタケノコご飯のおにぎりを花の下で頬張って楽しいひとときとなりました。  
(富山生きる場センター)



富山県は、自然豊かな県です。また、自然環境をテーマにした絵はがき等を並べました。毎年のことながら、お客さんとの丁々発止の会話が楽しみです。写真は計算機を使っておつりを計算しているところです。(富山生きる場センター)

編集人：特定非営利活動法人  
自立生活支援センター富山  
連絡先：〒930-0024  
富山市新川原町5-9  
レジデンス新川原1F  
tel 076-444-3753  
fax 076-407-5557  
郵便振替：00700-5-47253  
自立生活支援センター富山  
発行人：北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉312番地  
定 価：90円  
年間購読料：360円